

○令和4年12月19日 環境建設委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

環境建設委員会では、今年度のテーマを「循環型社会の形成について」及び「河川砂防・住宅行政について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、古川広域河川改修事業の現場（東かがわ市引田）を訪問し、国の交付金や補助金を活用した事業の概要や全体計画及び令和4年度施工計画について説明を受けた後、質疑を行いました。



次に、株式会社フクシン（東かがわ市白鳥）を訪問し、再生ポリエステルなどの再生素材を使用した手袋等の商品開発や、片手・片足販売、永久修理保証など衣類ロスの削減に資する取組について説明を受け、質疑を行いました。



最後に、南部開発株式会社の東かがわ白鳥中間処理場（東かがわ市白鳥）を訪問し、伐採材などから、家具、壁材の下地の材料及び発電用のバイオマス燃料などに利用されるチップを製造する木質廃棄物の中間処理事業について説明を受け、質疑を行いました。

